けふ 野辺をあるきて-佐野一彦の「伊深日記」-展

期 12月 7日(土)~2014年 2月 2日(日)

企画展示室

観覧無料

●ミュージアムトーク

2014年 1月 5日(日) (1) 11:00~、(2) 14:00~ 当館学芸員が展示の解説を行います。参加無料・申込不要



「伊深日記」

「伊深日記」(部分)

佐野一彦(1903~1997)は東京に生まれ、学生時代に哲学や文化史を学び、ドイツ 留学後、神戸の大学で教鞭をとっていました。1945年(昭和20年)4月、戦争が激しく なると、家族とともに加茂郡伊深村(現・美濃加茂市伊深町)に疎開、やがて定住します。 民俗学も研究していた佐野は、疎開直後から伊深の暮らしを日記に書きはじめます。そ れが、「伊深日記」です。日々の食事の内容は絵入りで説明を加え、道ばたで見つけた 草木は、観察したとおり克明に記しています。そして、さまざまな出来事を通した人とのつ ながりのひとつひとつを綴っています。人々の営みをフィールドワークを通して記録した、 現代史の観点から見ても貴重なものといえます。戦争という極限の状況の中、伊深に 疎開した佐野は、あふれる自然と風土に一種の「豊かさ」を感じたのかもしれません。 本展をとおし、つつましくも満たされた気持ちで過ごした伊深の空気を感じてください。

●内容

orum & event	●日時	●会場
ミュージアムイベント	2014年 1月11日(十)	

ミュージアムイベント 特別講座「ある日の伊深のお膳 II 」 (四季を食べる講座)	2014年 1月11日(土) 10:00~13:30	生活体験館	「伊深日記」の中から献立を再現します。 参加料:500円 定員:20名 持ち物:エプロン、三角巾 申込方法:事前申し込み〔12月21日(土)~1月4日(土)〕
ミュージアムイベント 「伊深日記」の朗読とおはなし	2014年 1月11日(土) 14:00~15:00	生活体験館	特別講座(四季を食べる講座)に引き続き開催するものです。 次女・佐野綾目さんによる朗読とおはなしをお聴きください。 【聴講自由】 参加料:無料 定員:50名 申し込み不要
ミュージアムイベント 「伊深日記」を読む	12月 7日(土) 12月14日(土) 2014年 1月18日(土) 各13:00~15:00	伊深交流センター (美濃加茂市伊深町)	A.戦中・戦後の食事の様子を中心に。 B.描かれた伊深の地図と史跡を中心に。 各回ともAとBを前半・後半に分けて読みます。3回シリーズですが、各回ごとの受講も可能です。 参加料:100円(テキスト代) 定員:20名 申込方法:当日受付(30分前より)

ミュージアムイベント 「伊深日記をたどる」 2014年 1月25日 (土) 開催予定。 詳細は次号ミュージアムニュースでご案内します。

みのかも文化の森

〒505-0004 岐阜県美濃加茂市蜂屋町上蜂屋3299-1 TEL.0574-28-1110 FAX.0574-28-1104 http://www.forest.minokamo.gifu.jp/

■ご利用のご案内

開館時間 9:00~17:00

(ただし、展示以外の施設利用は8:30から22:00まで) 月曜日(ただし、祝日の場合は開館し、直後の平日休館)

■9月・10月・11月・12月の休館日

9月17日、24日、30日 10月7日、15日、21日、28日 11月 5日、11日、18日、25日 12月 2日、9日、16日、24日、29日~1月 3日

道/JR名古屋駅より美濃太田駅まで東海道本線・高山本線 経由特急「ひだ」で約40分、駅北口より徒歩約17分 自動 車/東海環状自動車道美濃加茂ICより約5分、駐車場174台

JR美濃太田駅北口より乗車、「文化の森」下車(約8分) 月~ 金/日本昭和村線(1日3往復) 月火木金/日本昭和村·富加線(1日3往復) 土日祝日/文化の森公園線(1日7往復)

賃/一般 200円 小中学生 100円 未就学児無料 時 刻 表/詳しくは、美濃加茂市ホームページをご覧ください



minokamo city museum

MUSEUM vol.71 みのかも文化の森 2013年 9/15発行



深の観察日記 21

ムラサキシジミ

羽の表面が青紫色に輝 くムラサキシジミ。今の時期 に文化の森周辺の森で多 くみられます。

羽の表面は木の葉のよう な茶色なので、見つけるの が少し難しいですが、シイや カシの木の近くを注意深く 見ていると、きっと出会うこ とができますよ。



 \bigcirc

 \bigcirc

 \bigcirc

 \bigcirc

 \bigcirc

 \bigcirc

 \bigcirc

 \bigcirc

 \bigcirc

BUNKANOMORI EXHIBITION !

眠りにつくまで 平川祐樹展

●会 期

9月14日(土)~10月27日(日)

●会 場

企画展示室、美術工芸展示室

観覧無料



Vanished Tree(2012) Installation View

「芸術と自然 | をテーマとした現代美術の展覧会とワークショップ。こ のたびは、事物や場所に宿る「時間」や「記憶」を主題とした映像作 品を制作する美術家・平川祐樹(1983年~)を紹介します。

名古屋学芸大学大学院メディア造形研究科修士課程を修了した 作家は近年、ドイツでのレジデンスの活動に意欲的に取り組み、今年 度のあいちトリエンナーレの参加作家に選出されるなど、活躍が期待さが自らの記憶をたどるワークショップを行います。 れる若手のアーティストです。フィールドワークに基づく映像を主軸とし

囲む森に着目しました。土砂に埋もれ石化した木は、朽ちることなく当 時の姿形を今の世に残しています。まるで深い眠りについたまま生き長 らえる珪化木を巡り、時間の可視化を探ります。

本展の開催に向けて作家は7月から滞在制作を開始しました。会期 中には、夜の森を舞台とした映像作品の展示や、森を散策して参加者

自然の歴史が「眠る」大地には、今という時も刻まれ続けています。 ながら、写真や物の展示を併せた空間構成を試みています。美濃加茂 ゆっくりと、うつろい流れゆく平川祐樹のフィルムの世界に身を置いて、 を訪れた作家は、館で所蔵する自然史資料の珪化木とミュージアムを自らの体内にも在り続ける時を見つめるきっかけとなれば幸いです。

orum & event	●日時	●会場	●内容
アートな1日講座 「時の地図を巡る旅」 平川祐樹ワークショップ+アーティストトーク	9月22日(日) 13:00~16:00	工芸室	森のなかに残る様々な痕跡が描かれた地図を持って森を歩き、 場所に宿る「時間」や「記憶」を読み解きます。 参加料:無料 申込方法:当日受付(12:30より)
ミュージアムイベント 夜間特別展示「雷の樹」	9月21日(土) { 23日(月) 19:00~20:30	敷地内の森の中	雷が落ち、伐採された一本の樹。そこから発想を得た映像作品 を、森の中に設置されたスクリーンに投影をします。 観覧料:無料 雨天中止

白砂钼寂全

10:00~12:00



事前申し込みについて はがき(住所、氏名、電話番号、希望講座を記入)、ご来館、文化の森ホームページ講座申し込み専用フォームのいずれかの方法でお申し込みください。 ■電話、FAXによる受け付けは行いません。 ■応募者多数の場合は抽選となります。

イベント ^{日時}	●名称	m i n o	●参加料	●定員	city museum • 内容
9/14 (土) \$ 3/16 (日)	ていねいな暮らしと道具展	民具展示館	_	_	市民のみなさんから寄贈された昔の道具から人 々の知恵や生活の苦労などを知ります。学校の 学習活動とも連携し、体験しながら学びます。
9/21 (土) 14:00~15:00	第132回 森の朗読会	緑のホール	無料	120名	作品: 「帰去来の井戸」 光原百合/作
10/19(土) 14:00~15:00	第133回 森の朗読会	緑のホール	無料	120名	作品:「杜子春」芥川龍之介/作 『99のなみだ』より「幸せのレシピ」 池田晴海/作
10/25 (金) ほか 9:00~12:00	かもまる歴史講座 (全3回)	美濃加茂市 坂祝町 富加町	1,000円 (3回分)	20名	バスで文化遺産をめぐります。 2回目:11/21 (木)、3回目:12/20(金) 申し込み方法:事前申し込み〔受付中~9/29(日)
11/24(日) 10:00~12:00 13:00~15:30	第21回ゴールデンアート劇場 ビデオ上映会	緑のホール	無料	各回 120名	「世界・美の旅 ルーベンス~ネロの愛したルーベンス~」(上映時間30分)を繰り返し上映します。
11/29 (金) { 12/ 1 (日)	美濃加茂市子ども展	企画展示室 美術工芸展示室		_	市内小中学校の児童・生徒の作品展です。「絵画」「彫刻」「彫塑工芸」「技術家庭」「書写」 の作品などを展示します。
12/15(日) 14:00~15:00	森のコンサート	エントランス ホール	無料	200名	音楽療法士である山田広美さんらによるコンサートが行われます。 出演者:山田広美(Vo.)、木須康一(P)
12/21 (土) 14:00~15:00	第134回 森の朗読会	緑のホール	無料	120名	作品: 『温かなお皿』 より 「朱塗りの三段重」 江國香織/作 『さがしもの』 より 「さがしもの」 角田光代/作

四季を食べる講座 minokamo city museum

ボランティア「伝承料理の会」 と一緒にこの地域に伝わる料理 を作ります。

料理にまつわる楽しいお話も聞 けます。

会 場: 生活体験館

時 間: 10:00~13:00

定 員: 20名

持ち物: エプロン、三角巾



	●開催日	●名称	●内容	●申し込み方法	●参加料	
E	9/15(日)	栗おこわと 栗のおやつ	買うと高いし作るのは面倒そうだし・・・ そんな栗おこわが身近になりますよー。 おやつも作っちゃいましょう♪	当日受付 (30分前より)		
İ	10/1(火)	炭火で焼くさんま	秋はやっぱりさんまでしょ?!脂ののった さんまを炭火で焼いてほおばる・・・なん て贅沢!!	事前申し込み 〔9/3(火)~9/17(火)〕	500円	
	11/6(水)	伝承deパーティー	地味だって思ったでしょう?伝承料理だってちょっとした盛り付けとアレンジでパーティーメニューに! (6ヶ月~3才の乳幼児を持つ親御さんが対象の講座です)	事前申し込み 〔10/8(火)~10/22(火)〕		
	11/17(日)	手作りこんにゃく	ー体誰が最初に作ったのかしら?ごつ ごつした芋がプリプリこんにゃくに変身 する不思議さを体験!	当日受付 (30分前より)	300円	
	12/3(火)	おせち料理	来年こそ"手作りおせち"と思いながら 早、数年・・・そんなあなた、この講座で 少しずつ覚えてみませんか?	事前申し込み 〔11/4(月)~11/19(火)〕	500円	

ていねいな	(暮らし講座	m i n o	kamo ci	t y m	u s e	u m
●日時	●名称	●内容	●申し込み方法	●会場	●参加料	●定員
9/15(日) 18:00~19:30	月見と夜なべ	ウクレレと歌を聞きながら、夜なべ しごとの合間に月をめでます。 演奏:tomoyoさん	当日受付 (30分前より)		無料	50名
9/14 (土) { 9/ 19 (木)	年中行事 月見	今年は9月19日が中秋の名月で す。緑側に秋草とサトイモをそな えます。【自由観覧】	_	· 生活体験館		
11/30(土) 9:30~12:30	季節を染める	晩秋の草木で染めの体験をします。 親子歓迎。持ち物:エプロン	事前申し込み 〔11/2(土)~11/17(日)〕	1 土/11 平狭路	1000円	20名
12/14 (土)	年中行事 門松たて	かつてこのあたりでみられた簡素 な門松を立てます。【自由観覧】				

アートな1		●内容	●申し込み方法	· ●会場	●参加料	●定員
10/27(日) 13:00~16:00	陶芸 (手びねりまたはろくろ)	手びねりの技法またはろくろで簡単な器をつくります。 出来上がった作品は後日お渡しします。(送付の場合有料)	当日受付 (30分前より)	陶芸室	1000円	20名
11/10(日) 13:00~16:00	お菓子でつくる クリスマス	クリスマスのオーナメントをお菓子 でつくります。 持ち物:エプロン、タオル	事前申し込み 〔10/ 4 (金) ~10/22 (火) 〕	アトリエ	700円	15名
12/1(日) 13:00~16:00	高畠純さんとクリスマス ペーパークラフト	絵本作家の高畠純さんとクリス マスのペーパークラフトをつくり ます。 持ち物:はさみ、のり	当日受付 (30分前より)	エントランスホール	500円	20名

日船断宗艺	:	III I II O	Kamo C	ity m	u s e	u m
●日時	●名称	●内容	●申し込み方法	●会場	●参加料	●定員
12/1(日) 10:00~12:00	トレッキング講座	季節の植物を楽しみながら、低山 トレッキングを楽しみます。 持ち物:飲み物、帽子、動きやすい 服装 ※小学生以下は保護者同伴	事前申し込み 〔10/22 (火) ~11/17 (日	山之上地区の)〕 里山	100円	20名

自然と食の)講座	m i n o	kamo ci	t y m	u s e	u m
●日時	●名称	●内容	●申し込み方法	●会場	●参加料	●定員
10/20(日) 10:00~14:00	頑固なクズ	きらわれもののクズですが、いろん な活用法があります。文化の森周 辺にうっそうと生えているクズ。その	事前申し込み	生活体験館	400円	小学3年生 以上の
10/26(土)	優秀なクズ	クズからとったクズ粉で何ができる かな・・・?	〔9/10 (火)~10/10 (木)〕	土冶件級品	(2回分)	親子10組

自然と科学	2の講座	m i n o	k a m o	c i	t y m	u s e	u m
●日時	●名称	●内容	●申し込み方法		●会場	●参加料	●定員
12/14(土) 10:00~12:00	天気のしくみ	雲のでき方を学び、温度をはかります。	事前申し込み [11/1(金)~11/30		工芸室	100円	20名

※連続講座です

邦楽で描く児童劇の世界

10月5日(土) 18:30~

エントランスホール

500円(定員200名)

チケットは9/5(木)より文化の森で販売いたします

逍遙作の児童劇らしい愛らしい情感を、邦楽で再現します。また、江戸情緒豊かな 新内節本来の魅力あふれる作品もご堪能いただきます。

出演:新内剛士、新内仲之介

第10回博学連携フォーラム

~博物館と子ども、ふたつをつなぐ「人」~

●日 時 10月25日(金)【公開授業】〈午前の部〉 9:40~11:50 〈午後の部〉13:00~14:00

【フォーラム】14:20~17:00

●会 場【公開授業】生活体験館、研修室ほか 【フォーラム】緑のホール

【公開授業】山手小学校4年生 社会科「きょう土を開く」

【フォーラム】

基調講演「ミュージアムの可能性

一触発しあう空間の創造一」

講師:東京大学大学院教育学研究科 講師 新藤 浩伸氏

【意見交流会】

どなたでもご参加いただけます。



■ 第58回美濃加茂市美術展

11月13日(水)~11月24日(日) 9:00~17:00(最終日のみ15:30まで)

企画展示室、美術工芸展示室ほか

観覧無料

市民公募による展覧会です。 日本画、洋画、彫刻・彫塑・工芸、書、写真の 5部門にわたり、入賞入選作品を展示します。



朗読フェスティバル 第17回

12/8(日) 10:00~15:40

●会場 緑のホール

【みのかも「声のドラマ」の会受講生による朗読】 ※当日の出演順は未定です 「ゆうれい貸屋」山本周五郎/作、「長福寺のメリークリスマス」荻原 浩/作、「117の伝説」 小松知佳/作 「高齢者四重唱 | 梅原満知子/作、「栞の恋 | 朱川 湊人/作、「耳なし芳一のはなし | 小泉八雲/作 入場料:無料(自由席)

 $12/7(\pm)16:00\sim17:00, 12/8(H)16:00\sim17:00$

●会場 緑のホール

【講師の公演】

出演:戸村美智子・岡 摂子(いずれも放送表現教育センター)※講師の公演は両日とも同じです 入場料:1,000円(自由席)チケットは10月4日(金)より文化の森総合案内にて販売いたします

まゆの家まつり

ボランティアのみなさんとちょっと昔の暮らしをみて、遊んで、食べて みませんか?

●日 時 10月19日(土) 10:00~15:00

生活体験館「まゆの家 |



紙芝居(はたおり) 苦遊び

同時開催!

文化の森の講座から生まれたサークルやボランティアのみなさんが 自分たちの作品の販売を行います。活動の成果をぜひご覧ください。

●時 間 10:00~15:00

会場 工芸室、実習棟テラス



村瀬卓郎展

美濃加茂市蜂屋町出身の洋画家・村瀬卓郎。美術教諭を続 けながら現展を中心に発表を重ねました。2012年度の新収蔵 品を展示します。

●会 期 12月7日(土) 2014年 1月26日(日)

●会 場 美術工芸展示室

観覧無料

「田園の残影」



森とミュージアム

ミュージアムレポート

美濃加茂市民ミュージアムは、「森の中に建つミュージアム」です。敷地面積は約9

- ヘクタール、森は自然観察や遺跡見学をする子どもたちの学びの場となり、散歩を愉し む市民の憩いの場となっています。そして近年は早稲田大学の学生が劇を演じたり、美
- 術家たちが制作発表をしたりする「表現の場」にもなっています。特に今年度の上半 期は、森に関係するアートイベントが連続しました。
- 春の大型連休には東海地区を拠点とする若手作家が中心となり、森の中で作品を 発表する「Woodland Gallery」を開催。4回目となる今年は80人が参加しました。初
- 夏からは美濃加茂市出身の造形作家・渡辺泰幸さんのワークショップ展があり、木立 の間に約800個の陶の風鈴を掛けました。そして7月初旬からは映像を核とした空間芸
- 術を手がける平川祐樹さんの滞在制作が始まりました。
 - 渡辺泰幸さんはアートを通じてコミュニケーションをしたいと考えています。今回美濃 加茂で展示した風鈴はかつて渡辺さんが越後妻有トリエンナーレで現地のボランティ アが作ったものに、文化の森や「きそがわ日和」のボランティア、一般のワークショップ
- 参加者が作り足したものです。7月末、渡辺さんと一緒に木立の間に張ったワイヤーに
- 森の緑に白い風鈴は映えました。大きな風が吹くと一斉に音を響かせて、訪れた人 の目と耳を愉しませるアートとして完成しました。森は自然と作り手と来館者の関係が結 ばれる場となったのです。





「渡辺泰幸ワークショップ展



自然の環境や情景に沿う表現には、大らかさや遊びが生じます。その良さを味わえ るのが「Woodland Gallery」です。数日前から現地で作業する作家もいれば、普段 の作品を持ち込む作家もいます。森で自分が表現できるスポットを探し、見せ方に試 行錯誤します。この様子はまるで作家たちが森で遊んでいるように見える事があります。 その位、作品も作家自身も自然の中で伸び伸びとしています。制作の傍らで森を歩き、 仲間同士で交流し、時には佇みます。作家にとって森は、柔軟な心と体で発想に耽る 時間と、新しいものを生み出す力とを与えてくれる場所なのだろうと感じます。

しかし、森は常に穏やかとは限りません。去年、森に雷が落ちました。皮はバリバリと 剥がれ、木は枯れ始めました。危険なので総務係が伐採の準備を進めていました。



- 秋に展覧会を行う平川祐樹さんは、下見に来た時この木に目を留めました。この木 がどうしても気になるという平川さんは伐採当日、記録のためカメラを持って森へ来まし た。更に後日、倒木の一部を燃やした焚き火の映像を撮影しました。
- その一方で、館の自然史資料「珪化木」を主題にした作品の構想を練り続けていま した。「珪化木」とは、土砂に埋もれて石となった木の化石です。雷の木と珪化木、平 川さんの試みは「木」を糸口にして、遠い昔と現在との時間の連なりを示してくれるもの
- でした。そして自然や歴史や人の暮らしを掘り起こそうとする博物館の原点が今ある森 へと繋がっていくと、気づかせてくれたのです。
- ミュージアムは多くの珍しいもの、古い時代のもの、美しいものを眺められる場所です。 それらの「もの」と出会いから、次の新しい発想を生み出そうとする。人の感覚の根は自 然をよりどころにしていると思うのです。
- 今の暮らしは昔と比べて自然から少しずつ遠ざかっています。美術館と博物館は別 ではなく、私は美濃加茂市民ミュージアムが美術も民俗も自然も歴史も全てが繋がっ ていることを示す館でありたいと感じています。そのためにも、森は大切な存在なのです。
- (Y.W)



